

式辞

「よいプログラムでも失敗でも全く問題はない。結果がどうあれ、それが私の人生の物語。」

令和5年4月7日金曜曇り。この日から卒業生たちの物語「第三中学校編」が始まりました。数々の名場面や珍場面を仲間や先生方と創り出し、様々な困難や試練を乗り越え、今日ここに603回目を数えた中学校での物語が幕を閉じます。それぞれが唯一無二の存在で、皆さんが主人公の物語でした。私たちにもその感動を分けてくれた133名の第57回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでの卒業生が残してくれた桜・ジンダイアケボノも徐々につぼみが膨らみ始め、開花へ向けて準備をしています。それは、今年の卒業生たちが次のステージでも花開くことを応援しているかのようです。卒業生の明るい前途を感じるこの佳き日に、館林市教育委員会教育委員・堀口哲哉様、館林市議会議員の皆様、区長の皆様、学校運営協議委員の皆様のご臨席のもと、伝統ある本校の卒業証書授与式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

憶えていますか？雨の中でのキャンプファイヤーで友情を深めた高原学校。職場体験学習で社会の仕組みや自分自身の適性を垣間見たり、頑張ればできると自分に自信を持ったスキー教室。三年生では、先生たちと仲のよい雰囲気や会話、真剣な授業風景、学級のために熱く競技した体育祭。修学旅行では、班で協力し合い京都の町を巡っている姿、美味しそうにスイーツを食している姿、夜の舞妓舞踊見学での一体感ある盛り上がり忘れられません。金賞とその向こう側を目指し、素晴らしい歌声を響かせ、聴かせてくれた君たち最後の音楽祭。三年間の思いを歌い上げている姿には涙を誘われました。部活動では、後輩を導き、切磋琢磨し合い、試合やコンクールでは、心を燃やし、前を向いて、最後の最後までフェアに全力を尽くす、すがすがしさと美しさを見せていただきました。清水学年主任を始めとする第三学年の先生方の思いと期待を受け止め応えようとする様子は、大変素晴らしく誇らしく思います。短い間でしたが、皆さんと過ごした毎日は、楽しく、笑顔あり涙ありの連続ドラマでした。

さて、これから新しいステージへ進む卒業生の皆さんへの餞として「完璧なんてつまらない」「完璧なんてつまらない」という言葉を贈ります。

これから先、自分の力ではどうにもならないことや頑張ってもつまずいてしまう、あるいは上手くいかないこともあります。そう、完璧にできることなんてありません。しかし、それで諦めたり人のせいにしたりするのではなく、成長の一過程として前向きにとらえ、笑顔で失敗を正面から受け止める余裕を持つことが、新たな発想や着眼点が生まれるよいチャンスとなります。何度も何度も挑戦し続けていくことが、成功への過程のよい経験やよい学びとなり、これまでにやってきた事をより高い成功に、不可能を可能にできるのではないかと考えます。

先のミラノ・コルティナオリンピック・女子フィギュアスケート金メダリスト・アリサーリウ選手は、十三歳で全米選手権を優勝し、「天才少女」として世界中の期待を背負いました。しかし、完璧な演技と結果を求められるプレッシャーの中で、彼女は一度、スケートへの情熱を見失ってしまいます。そして十六歳で現役を引退。リンクを離れた彼女は、大学へ進み、友達と遊び、旅行に出かけ、これまでできなかった「普通の生活」を楽しみました。その時間の中で彼女が気付きます。誰かの期待に応える「完璧な自分」ではなく、ただ滑ることが好きだという「ありのままの自分」の気持ちにです。そして復帰。彼女が大切にしたのは、勝つことや完璧であることではなく、「自分が楽しむこと」でした。その結果、以前よりもずっと自由に、美しく、力強く、クリエイティブに、素敵な演技ができ、冒頭に掲げた言葉となったのです。

皆さんも、今後の人生で「失敗したくない」「完璧でなければならない」と自分を追い込んでしまう時があるかもしれません。しかし、正解通りの完璧な人生なんて、どこにもありません。思い通りにいかない挫折や、一度立ち止まる勇気、そして回り道。その全てが、君だけの「深み」となり、新しい輝きを生み出します。完璧を目指して縮こまるより、不完全な自分を面白がってください。思い通りにいかない日

弱音を吐きたくなる夜があってもいいんです。ただ、「完璧なんてつまらない」と笑い飛ばしましょう。完璧じゃないということは、伸びしろがまだまだあるということです。自分に自信を持ち、失敗を恐れず、自分だけの「好き」や「楽しい」という気持ちを道しるべにゆっくりでもいいから堂々と歩み、目標の向こう側の新しい景色を目指してください。

不安があるのは当然です。でも、君たちは一人ではありません。困ったときには周囲の意見を尊重し耳を傾け、支え合っていくことが大切です。一人では難しいと思えることも、皆が力を合わせれば、実現できる可能性が広がっていきます。支えてくれる人たちへ感謝し、皆で高め合って前に進んでいって下さい。それでも、行き詰まってしまったときはいつでも羽を休めに来て下さい。私たち職員は、いつでも皆さんの力になりたいと思っています。

2年生の皆さん、次は君たちの時代です。卒業生からの想いと願いが託された襷をつなぎ、三中を更に前に進めていって下さい。つなぐとは、マネをすることではありません。卒業生が築いてくれた伝統を尊重しつつ、今の時代に合わせて、ブラッシュアップやアップデートし、伝統あるよりよい三中を創っていくことです。卒業生同様、活躍を期待しています。

保護者の皆様には、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、これまでの本校の教育に対する温かいご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。私どもがそうであったように、子どもの進む道にも様々な試練が待ち受けていると思います。そんな試練に立ち向かう時、子どもの幸せを願う愛情が、大きな支えとなるに違いありません。最も身近にいる人生のよき伴走者として、認め励ましつつ、温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

また、本日ご臨席賜りましたご来賓の皆様におかれましては、これまでいただきましたご厚情に深く感謝申し上げますとともに、これからもお力をお貸し続けていただければ幸いです。

I truly appreciate your support. Thank you so much.

加えて、いつも生徒たちに寄り添い、励まし、諦めずに、正しい道へ導き、笑顔と明るさで様々な局面と一緒に乗り切ってきた、本校職員を校長として誇りに思います。ありがとう。

133名の第57回卒業生の皆さん、いよいよお別れの時がきました。本校で学んできたことに自信と誇りをもち、いつも「笑顔」で、君たちを支えている多くの人に「感謝」し、自他を「尊重」しながら、完璧なんてつまらないという「前向き」な考えをもって、人として成長し続け、君だけの、人生という唯一無二の物語を創っていって下さい。

Congratulations on your graduation!

Wishing you the best of luck in the future.

Good Luck and You can do it!

三中を巣立つ皆さんの前途が、失敗さえも彩りとなる豊かなものであることを願い、エールを送り、式辞といたします。

令和8年3月13日

館林市立第三中学校

第19代校長 橋本文明